

中学校
1年

目的に合わせて自分らしく着よう

日本の伝統文化 和服

高槻市立第六中学校

教科

家庭科

単元名

私たちの衣生活

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・衣服の基本的な働きを理解する。
- ・目的に応じた衣服の着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解し、目的に応じたその場にふさわしい着方ができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・目的に応じた図書館資料を選ぶ。
- ・収集した資料を使い、課題解決に生かす。

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP4, C-STEP4
D-STEP4, G-STEP4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全8時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (2時間)	○衣服の働きを理解する。 ・教科書を用いて、衣服の「保健衛生上の働き」、「生活活動上の働き」、「社会生活上の働き」の説明をする。
第2次 (2時間)	○日本の伝統衣装、和服を着てみよう(浴衣の着付け体験) ○TPOを考えて目的に合わせて自分らしくコーディネートする。 ・浴衣を実際に着用して、着付けの仕方、着付けに必要な小物などを確認し、浴衣の着心地を体験する。 ・着ていく場面を自分で設定して、その場にふさわしい衣服や小物を考えてワークシートにイラストや言葉で表す。
第3次 (4時間)	○日本の伝統文化 和服～探究学習～(☆) 学校図書館の資料を使いレポートにまとめ発表する ・教科書の「和服・伝統文化」、「世界の衣食住」のページ、パワーポイントの画像で日本の伝統的な衣服(和服)や民族衣装について確認する。 ・図書館資料から和服や民族衣装などについて調べ、情報カードに記入し、スライド(オクリンク)にまとめる。(本時) ・スライドを使って発表する。

本時のねらい

- ・衣服と社会生活との関わりを知り、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解し、目的に応じたその場にふさわしい着方ができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 衣服の働きを理解する。 ・教科書の「和服・伝統文化」、「世界の衣食住」のページやパワーポイントの画像を通して、衣服は、それぞれの国の気候や風土、宗教、生活、文化などの影響を受け、それらに適応しながら着用していること、日本の伝統的な衣服(和服)について確認する。	
展開 (42分)	2. 図書館資料から和服や民族衣装などについて調べる。 ・生徒一人ひとりが調べるテーマを決める。 ・設定したテーマに沿った図書資料を選ぶ。 授業で使った本の例 「世界の民族衣装図鑑」文化学園服飾博物館 ラトルズ 「楽しむ伝統文化 着物」織田きもの専門学校 保育社 「日本の歴史 生活図鑑 ビジュアルブック」山田康弘ほか 東京書店 3. 情報カードに調べたことをまとめる。 ・情報カードに調べたことを整理して記入する。	(・図書資料は学校司書が事前に選び、準備しておく。(和服の歴史、伝統衣装、浴衣の歴史、世界の伝統衣装などの本) ・図書資料だけでなく、タブレット端末も併用し、設定したテーマについて調べ必要な情報を整理させる。 ・教員が事前に参考文献の内容を把握し、生徒一人ひとりの調べたいこと、知りたいことに対して適切な本を手渡すことで、迷っている生徒に個別に対応する。
まとめ (3分)	4. 次時の学習の見通しをもつ。 ・情報カードに整理した内容をスライドにまとめ、考察したことをどのように発表するか見通しをもつ。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・図書館の本を活用したことで、世界の民族衣装の刺繍や色について、着物の種類、重ね色目、柄、生地など、生徒が興味を抱いた様々な伝統衣装を調べ、考察することができた。
- ・生徒からは、サッカー、野球、バスケットボール等の自分がクラブで着用しているユニフォームの歴史、パジャマの歴史、パーカーの歴史などについて知りたいという声があった。今回提供した本に載っていないことは、タブレット端末で調べていたので、今後、多様な視点で生徒が興味を示すような文献も準備する必要がある。